

選考システム

第 34 回オリンピック競技大会 – LA28

国際射撃スポーツ連盟 (ISSF)

射撃

バージョン : 2025 年 12 月 10 日時点

A. 種目 (15 種目)

男子 (6 種目)	女子 (6 種目)	混合種目 (3 種目)
10m エアライフル男子 (ARM)	10m エアライフル女子 (ARW)	10m エアライフル混合団体 (ARMT)
50m ライフル 3 姿勢男子 (R3PM)	50m ライフル 3 姿勢女子 (R3PW)	
10m エアピストル男子 (APM)	10m エアピストル女子 (APW)	10m エアピストル混合団体 (APMT)
25m ラピッドファイアピストル男子 (RFPM)	25m ピストル女子 (SPW)	
トラップ男子 (TRM)	トラップ女子 (TRW)	トラップ混合団体 (TRMT)
スキート男子 (SKM)	スキート女子 (SKW)	

B. 出場枠

B.1. 射撃の出場枠総数

	男子	女子	合計
個人出場枠	158	158	316
開催国枠	6	6	12
ユニバーサリティ枠	6	6	12
合計	170	170	340

B.2. 各国内オリンピック委員会 (NOC) あたりの最大選手数

	男子	女子	合計

NOC あたりの出場枠	12	12	24
-------------	----	----	----

B.3. 種目あたりの最大選手数

各 NOC は個人種目にそれぞれ最大 2 名のエントリーが可能。混合団体種目にはそれぞれ最大 2 チームのエントリーが可能であり、チームは当該 10m 種目およびトラップ個人種目に出場資格を得て出場可能な同一選手で構成される。

B.4. 出場枠の配分方式

出場枠は NOC に配分される。ただし、オリンピックランキングまたはユニバーサリティ枠により取得された場合は、選手個人の記名で配分される。

C. 選手の出場資格

すべての選手は、現行のオリンピック憲章の規定を遵守しなければならない。これには、第 41 条（選手の国籍）および第 43 条（世界アンチ・ドーピング規程およびオリンピック・ムーブメント競技操作防止規程）を含むがこれらに限定されない。

オリンピック憲章、世界アンチ・ドーピング規程およびオリンピック・ムーブメント競技操作防止規程（IOC が定める参加条件を含む）に加え、ISSF の規則を遵守する選手のみが LA28 オリンピック競技大会に参加できる。

年齢要件

C.1. LA28 オリンピック競技大会への参加にあたり、年齢制限はない。

IF 追加要件

C.2. LA28 オリンピック競技大会の射撃種目に参加するためには、すべての選手が指定の出場権獲得競技会において、1 種目以上で参加標準記録（MQS）を達成していなければならない。

MQS は、2026 年 7 月 31 日から 2028 年 5 月 1 日の間に開催される世界選手権、ワールドカップ、ワールドカップファイナル、グランプリ、大陸選手権、大陸競技大会、または特別に指定された出場権獲得競技会におけるオリンピック種目の予選または本選ラウンドでのみ達成可能。

参加標準記録（MQS）

男子種目	MQS	女子種目	MQS
10m エアライフル男子	613.0*	10m エアライフル女子	613.0*
50m ライフル 3 姿勢男子	569*	50m ライフル 3 姿勢女子	567*
10m エアピストル男子	565*	10m エアピストル女子	560*
25m ラピッドファイアピストル男子	565*	25m ピストル女子	565*
トラップ男子	114*	トラップ女子	100*

2027 ISSF 世界選手権 ライフル/ピストル (大邱、KOR)	24	3	3	3	3			3	3	3	3		
2027 ISSF 世界選手権 ショットガン (カイロ、EGY)	12					3	3					3	3
2027 ISSF ワールドカップ R/P/SG (ニューデリー、IND)	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2027 ISSF ワールドカップ R/P (バクー、AZE)	8	1	1	1	1			1	1	1	1		
2027 ISSF ワールドカップ R/P (ミュンヘン、GER)	8	1	1	1	1			1	1	1	1		
2027 ISSF ワールドカップ R/P (ローマ、ITA)	8	1	1	1	1			1	1	1	1		
2027 ISSF ワールドカップ SG (アカプルコ、MEX)	4					1	1					1	1
2027 ISSF ワールドカップ SG (杭州、CHN)	4					1	1					1	1
2027 ISSF ワールドカップ SG (ロナート、ITA)	4					1	1					1	1
アフリカ選手権 (AFC)	16	2	1	2	1	1	1	2	1	2	1	1	1
アメリカ大陸選手権 (CAT)	42	3	3	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4
アジア選手権 (ASC)	54	5	5	5	4	4	4	5	5	5	4	4	4
ヨーロッパ選手権 (ECH)	60	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
オセアニア選手権 (OCH)	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
開催国	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ユニバーサリティ	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
五輪ランキング	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	340	29	28	29	28	28	28	29	28	29	28	28	28

特別規定

- 1名の選手が自国 NOC に対し取得できる出場枠は1枠のみ。

- 1つのISSF世界選手権において、各NOCが各個人種目で取得できる出場枠は1枠のみ。その他の指定ISSF五輪出場権獲得競技会では、各NOCは各個人種目で最大2枠まで取得可能。
- 出場枠を取得するには、当該ISSF五輪出場権獲得競技会で選手が達成した成績が、その種目のMQS以上でなければならない。
- 決勝に出場できるのは1か国あたり最大3名。
- 出場枠はNOCに配分される。ただし、五輪ランキングおよびユニバーサリティ枠で獲得した場合は選手個人に配分され、NOCによる変更はできない。
- 2028年5月1日付のオリンピックランキングに基づき、各個人種目に1枠が配分される。五輪ランキング枠は、まだいずれの種目でも出場権を得ておらず、かつ当該NOCがその種目で2枠以上を保有していない最上位ランク選手に付与される。
- 選手が複数種目で最上位にランクされている場合、ランキングポイントが最も高い種目で五輪ランキング枠が配分される。
- 同点の場合、ISSF五輪出場権獲得競技会の上位10大会の成績合計によるランキングポイントが最も高い選手に付与される。
- さらにタイブレークが必要な場合、最高ランキングポイント種目の最高決勝スコアで決定。決勝スコアも同じ場合は最高予選スコアで決定。
- 指定ISSF五輪出場権獲得競技会で、既にいずれかの個人種目で出場枠を取得済みの選手に枠が付与された場合、同大会の当該種目で次に上位の選手に枠が移行する。選手のNOCが既に当該種目の最大枠数を保有している場合も同様。
- すべての個人種目は予選ステージと決勝ステージで構成される。決勝ステージは予選ステージ後に上位8名が参加する決勝場/決勝射場で行われ、メダリストが決定される。出場枠は決勝結果に基づき配分されるが、決勝出場選手全員に枠が配分された場合、予選ステージの結果に基づきまだ出場権を得ていない次の上位選手に残りの枠が配分される。
- ある個人種目で出場枠を取得した選手は、(i)第2種目のMQSを達成しており、(ii)第2種目におけるNOCあたりの最大選手数を超えない限り、ダブルスターター（二種目出場）として別の個人種目にも参加可能。この場合の出場枠はNOCではなく選手個人に配分される。

混合団体種目

- 各混合団体種目のチームは、当該10m種目およびトラップ個人種目に出場資格を得て出場可能な同一選手で構成されなければならない。
- 10mエアライフル/10mエアピストル混合団体種目にエントリーされたチーム数が予選リレーの射座数を超える場合、オリンピックランキングにより最終エントリーリストを決定する。2028年5月1日付のオリンピックランキングにおける当該10m個人種目の両メンバーのランキングポイント合計が考慮される。
- 同点の場合、2028年5月1日付のオリンピックランキングにおいて、当該混合団体種目の個人種目でランキングポイントが最も高い選手（男女問わず）を擁するチームが出場権を得る。

- トラップ混合団体種目の最大チーム数は 18。
- トラップ混合団体種目のエントリー数が 18 を超える場合、2028 年 5 月 1 日付のオリンピックランキングにおけるトラップ個人種目の両メンバーのランキングポイント合計により最終エントリーリストを決定する。
- さらに同点の場合、個人種目の五輪ランキング枠と同様のタイブレーク規則が適用される。

D.2. 開催国枠（12 枠）

開催国は、各個人種目において男女各 1 名の選手に自動的に出場資格が付与される。ただし、当該選手がその種目の MQS を達成していることが条件。

開催国枠は、出場権獲得期間中に開催国の選手が当該種目で出場枠を取得できなかった場合にのみ付与される。

D.3. ユニバーサリティ枠（12 枠）

LA28 オリンピック競技大会において、各性別 6 枠、計 12 枠のユニバーサリティ枠が対象 NOC に提供される。

2027 年 10 月 1日に IOC がすべての対象 NOC にユニバーサリティ枠申請の案内を送付する。NOC の申請期限は 2028 年 1 月 15 日。三者委員会は出場権獲得期間終了後に、対象 NOC への配分を書面で確認する。

ユニバーサリティ枠の詳細は「ロサンゼルス 2028 オリンピック競技大会 - 三者委員会ユニバーサリティ枠 - 配分手続」文書に記載。

E. 確認

出場権獲得枠の確認

E.1. ISSF は、出場権獲得期間中に各 NOC が取得した各個人種目の出場枠リストをウェブサイト (<https://www.issf-sports.org>) で公表する。このリストには出場枠数およびそれを取得した選手名が記載される。

この出場枠リストは、出場権獲得期間終了後 1 週間以内、遅くとも 2028 年 5 月 7 日までに、すべての NOC および ISSF 加盟連盟にメールで送付される。

ISSF は 12 の個人オリンピック種目それぞれについて、2028 年 5 月 1 日付のオリンピックランキングも公表する。

ISSF は、出場権獲得期間終了後 1 週間以内、遅くとも 2028 年 5 月 7 日までに、五輪ランキング枠を受ける資格のある選手について、該当する NOC および ISSF 加盟連盟にメールで通知する。

NOC および ISSF 加盟連盟は、出場枠を使用して選手を LA28 オリンピック競技大会にエントリーする場合、メールで確認するための期間として 14 日間が与えられ、遅くとも 2028 年 5 月 21 日までに確認しなければならない（G 項「選考スケジュール」参照）。

NOC がダブルスターターとして選手をエントリーする場合（当該 NOC が最大 2 枠を取得済みの種目に、別の個人ライフル/ピストル種目で出場枠を持つ選手を、第 2 種目の MQS を達成した上でエントリーする場合）、使用しない出場枠は 2028 年 5 月 21 日までに ISSF に返還し再配分に供さなければならない。

NOC は、1 つの種目の出場枠を同じ性別の別の種目の出場枠に変更する申請を最大 1 件行うことが可能。ただし、当該種目に空きがあり、かつ NOC が当該種目の最大枠数を保有していないことが条件。五輪ランキング枠はこの対象外。変更申請は 2028 年 5 月 21 日までに ISSF に届けなければならない。

開催国枠の確認

E.2. 開催国は、開催国枠の使用をメールで ISSF に確認しなければならない（2028 年 5 月 21 日まで。G 項「選考スケジュール」参照）。

F. 再配分

未使用出場権獲得枠の再配分

F.1. 指定 ISSF 五輪出場権獲得競技会または五輪ランキングで配分された出場枠のうち、2028 年 5 月 21 日までに NOC が確認しなかった、または辞退した枠は、当該種目の 2028 年 5 月 1 日付オリンピックランキングにおいて、まだ出場権を得ておらず、かついずれの種目でも出場枠またはユニバーサリティ枠を保有していない NOC の最上位ランク選手に再配分される。

該当する選手が特定できない場合、当該種目の NOC あたりの最大枠数を超えない範囲で、まだ出場権を得ていない次の最上位ランク選手に再配分される。

同点の場合、ISSF 五輪出場権獲得競技会の上位 10 大会の成績合計によるランキングポイントが最も高い選手に付与される。さらにタイブレークが必要な場合、最高ランキングポイント種目の最高決勝スコアで決定。決勝スコアも同じ場合は最高予選スコアで決定。

未使用開催国枠の再配分

F.2. 未使用、未確認または辞退された開催国枠は以下の規則に従い再配分される。

a) ISSF に返還された開催国枠のうち最初の 6 枠（取得された時系列順、各性別 3 枠、各種類（ライフル、ピストル、ショットガン）1 枠ずつ）は、当該種目の 2028 年 5 月 1 日付オリンピックランキングにおいて、まだ出場権を得ておらず、かついずれの種目でも出場枠またはユニバーサリティ枠を保有していないアメリカ大陸の NOC の最上位ランク選手に再配分される。

1. 該当する選手が特定できない場合、アメリカ大陸の NOC で、NOC あたりの最大枠数を超えない範囲の次の最上位ランク選手に再配分される。
2. それでも該当する選手が特定できない場合、大陸を問わず、いずれの種目でも出場枠またはユニバーサリティ枠を保有していない NOC の最上位ランク選手に再配分される。
3. それでも該当する選手が特定できない場合、大陸を問わず、NOC あたりの最大枠数を超えない範囲の次の最上位ランク選手に再配分される。

b) 6 枠を超える開催国枠、または各性別・各種類あたり 1 枠を超える枠が ISSF に返還された場合、大陸を問わず、いずれの種目でも出場枠またはユニバーサリティ枠を保有していない NOC の最上位ランク選手に再配分される。

1. 該当する選手が特定できない場合、大陸を問わず、NOC あたりの最大枠数を超えない範囲の次の最上位ランク選手に再配分される。
2. 五輪ランキングで同順位の場合、ISSF 選手権の上位 10 大会の成績合計によるランキングポイントが最も高い選手が優先される。

さらにタイブレークが必要な場合、最高ランキングポイント種目の最高決勝スコアで決定。決勝スコアも同じ場合は最高予選スコアで決定。

未使用ユニバーサリティ枠の再配分

F.3. 未使用のユニバーサリティ枠は、当該種目の 2028 年 5 月 1 日付オリンピックランキングにおいて、まだ出場権を得ておらず、かついずれの種目でも出場枠またはユニバーサリティ枠を保有していない NOC の最上位ランク選手に再配分される。

該当する選手が特定できない場合、NOC あたりの最大枠数を超えない範囲で、まだ出場権を得ていない次の最上位ランク選手に再配分される。

五輪ランキングで同順位の場合、ISSF 選手権の上位 10 大会の成績合計によるランキングポイントが最も高い選手が優先される。さらにタイブレークが必要な場合、最高ランキングポイント種目の最高決勝スコアで決定。決勝スコアも同じ場合は最高予選スコアで決定。

G. スケジュール

射撃の出場権獲得期間は 2026 年 7 月 31 日から 2028 年 5 月 1 日まで。この期間中に出場枠の取得および MQS の達成が可能。

期間	日付	マイルストーン
出場権獲得	2026 年 7 月 31 日	出場権獲得期間開始
	2026 年 11 月 1～15 日	ISSF 世界選手権全種目（ドーハ、QAT）
	2027 年	ISSF 世界選手権 ライフル/ピストル（大邱、KOR）
	2027 年	ISSF 世界選手権 ショットガン（カイロ、EGY）
	2027 年	ISSF ワールドカップ R/P/SG（ニューデリー、IND）
	2027 年	ISSF ワールドカップ R/P（バクー、AZE）
	2027 年	ISSF ワールドカップ R/P（ミュンヘン、GER）

	2027 年	ISSF ワールドカップ R/P (ローマ、ITA)
	2027 年	ISSF ワールドカップ SG (アカプルコ、MEX)
	2027 年	ISSF ワールドカップ SG (杭州、CHN)
	2027 年	ISSF ワールドカップ SG (ロナート、ITA)
	2026/2027/2028 年	アフリカ選手権/アフリカ競技大会
	2026/2027/2028 年	CAT 選手権/パンアメリカン競技大会
	2026/2027/2028 年	アジア選手権
	2026/2027/2028 年	ヨーロッパ選手権/ヨーロッパ競技大会
	2026/2027/2028 年	オセアニア選手権
	2028 年 5 月 1 日	出場権獲得期間終了/オリンピックランキング公表
確認・再配分	2028 年 5 月 7 日	ISSF が NOC/加盟連盟に取得出場枠をメールで確認
	2028 年 5 月 21 日	NOC/加盟連盟が ISSF に出場枠の使用をメールで確認
	未定	三者委員会が NOC にユニバーサリティ枠の配分をメールで確認 (該当する場合)
	2028 年 6 月 11 日	ISSF が未使用出場枠をすべて再配分
競技エントリー 期限	2028 年 6 月 26 日	LA28 オリンピック競技大会 競技エントリー期限
大会期間	2028 年 7 月 14~30 日	LA28 オリンピック競技大会